

会 議 録

会 議 の 名 称	第 7 回二戸市立小・中学校通学区域調整委員会
開 催 日 時	令和 8 年 1 月 19 日（月）午後 6 時 30 分～ 6 時 42 分
開 催 場 所	二戸市役所 1 階会議室
公 開 又 は 非 公 開 の 別	公開
出 席 委 員	太田郁夫委員、佐藤順委員、槻館行男委員、新毛公生委員、 荒川優子委員、戸来陽子委員、浪岡幸子委員、小林聖委員、 福原直樹委員、山舘誠委員、戸来守和委員、橋場重人委員、 蛇口吉男委員、小林温委員、工藤裕介委員、筒井裕一委員 （欠席：新毛真武委員、小笠原猛委員、中里敬委員、 山本卓也委員、中野善文委員）
説 明 の た め に 出 席 し た 職 員	加藤教育長、立花教育部長、長畑教育企画課長、大平教育施設係長、 五日市学校教育主査
会 議 の 概 要	・ 答申書提出

発 言 者	内 容 （要 約）
部長	1 開会 18：30 第7回二戸市立小中学校通学区域調整委員会を開催する。 委員5名欠席、定数に達していることから会議成立となる。
教育長	2 教育長あいさつ 日々忙しい中お集まりいただき回を重ねてきた。本日、答申をいただけるとのこと、よろしく願いしたい。
会長	3 会長あいさつ 答申書を今日提出できることになった。皆様ありがとうございました。
部長	4 審議 本日の進め方は、前回の審議を踏まえた修正案について、意見等を1月8日までに事務局へ連絡いただくこととしていた。ご意見はありませんでしたので、委員の皆様へ送付した答申案をもって、委員会の答申とし、会長から教育長へ答申することとしたい。それでよろしいでしょうか。 「異議なし」の声あり
部長	そのように進めます。それでは会長、教育長は移動をお願いします。 【太田会長、加藤教育長 会長席の前に移動】
会長	令和7年6月30日付で、諮問いただいた二戸市立小中学校の適正な学校規模と通学区域のあり方について、慎重に審議を進めてまいりました。ここに取りまとめた結果として答申書を提出いたします。 【答申書の取り交わし】 【太田会長、加藤教育長 自席に移動】
部長	続いて、太田会長より答申の概要についての説明をお願いいたします。
会長	審議に当たっては、児童生徒数の減少による教育上、学校運営上の様々な課題を踏まえ、次代を担う子供たちが多様な価値観や考え方に触れながら、社会を生き抜く力を育むとともに、充実した学校教育を受けることができる良好な教育環境が確保されるよう、将来を見据えた二戸市立小中学校の適正な学校規

	模と通学区域のあり方についてまとめております。適正な学校規模については、小学校については、集団での学びや多様な考え方に触れることなど、クラス替えができる12学級以上が望ましいとしながらも、1学級当たりの許容範囲20人と定め、単学級を維持しつつ、許容範囲を割り込むまたは割り込むことが想定される場合には、解消に向けた議論が必要であること、また、複式学級は早い時期に解消する必要があるものとしております。 中学校については、クラス替えの他、教科担任の配置等の関係から9学級以上が望ましいといたしました。通学区域のあり方については、近年の出生数を踏まえると、将来的に市内小学校1校、中学校1校体制を見据え、小学校中学校それぞれ1校に集約することを念頭に置いた調整が必要としております。集約に進んでいく場合、同じ児童生徒に過度な負担が生じないよう、何度も統合を経験しない仕組みが必要であり、学校の設置場所や教室数等の施設規模に鑑み、小学校中学校それぞれに拠点校を設定し、そこに集約する方法が望ましいとしております。 付帯事項として、二戸市立小中学校適正配置基本計画の策定に当たっては、今後の出生数の減少や急激な情勢の変化にも対応できる迅速性を重視していただきたいこと、集約する拠点校については、施設の規模や通学等に係る移動距離を考慮すると、小学校は福岡小学校、中学校は福岡中学校が適当としていくこと、中学校の1校体制への移行については、同一家族の子供の異なる学区への通学や、複数回の統合経験を回避するため、小学校の複式学級の解消と同時期またはそれ以前に先行して実施していただきたいこと。学校統合に当たっては、地域住民の理解に努めていただくとともに、通学時間、通学距離について、児童生徒の負担を可能な限り軽減できるよう考慮していただきたいことなどを意見とさせていただいております。 以上のような形で答申しております。
部長	太田会長ありがとうございました。続きまして、加藤教育長よりご挨拶致します。
教育長	ただ今、太田会長より、長期間にわたり熱心にご審議いただきました結果を答申として頂戴いたしました。深く敬意を表するとともに、心より厚く御礼を申し上げます。委員の皆様におかれましては、第1回の6月30日から本日まで7回にわたりご審議いただき大変ありがとうございます。おかげさまで、将来の子供の学びの観点から忌憚のないご意見をいただき、小中学校の適正規模、通学区域の方向性が見えてきたところであります。 今後につきましては、年度内に基本方針の策定を行い、来年度は適正配置計画の策定を進めてまいります。 本日を持ちまして、小中学校通学区域調整委員会を終了いたしますが、今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

	とさせていただきます。本日はどうもありがとうございます。
部長	それでは、今日委員会を閉じるにあたり、太田会長より任期終了にあたっての挨拶をお願い致します。
会長	6月30日にここ2、3年の二戸市の出生数を目の当りにしたときに、児童生徒数の急激な減少を痛感しました。10年、15年先を見据え、これからの時代を担う子供たちの充実した学校教育が図られるように、私達が教育環境について慎重に審議しなければならないと、進行の役を務めさせていただきました。拙い進行役にも関わらず、熱心にご審議いただき、今日この場で教育長様に答申書を提出することになりました。今日までの間、委員の皆様、ご協力と、色々な真剣なご意見、本当にありがとうございました。
部長	会長はじめ委員の皆様には、約7ヶ月間にわたりまして、熱心なご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。これをもちまして、本委員会の議事案件の一切を終了いたします。